

第5回八戸西スマートインターチェンジ地区協議会資料（概要版）

1. 供用開始（H31.3.23）から現在までの利用状況

【月別平均利用量（1日あたり）と累計交通量】

- 供用開始から R3.6.30 までの平均利用交通量は 600 台/日。（計画交通量 610 台/日）
- 累計交通量は約 50 万台。
- 車種別では、普通車・軽自動車が全体の約 9 割を占めている。
- 月ごとの利用交通量（台/日）の推移をみると、全国に緊急事態宣言が出された R2.4～5 月が全体平均を押し下げているものの、その後 7/22 の GoTo トラベル開始もあり順調に回復してきており、R2.7 月～R3.6 月の平均では 630 台/日と緊急事態宣言前の平均 610 台/日を上回る状況となっている。

2. 前回地区協議会（R2.6.30）での意見に対する回答

【前回いただいた意見】

- ①八戸北 IC 利用者の増加^{※1}の要素や八戸西 SIC の土日利用者が多い^{※2}理由について分析していただきたい。

※1…八戸西 SIC 開通前 1 年間と開通後 1 年間の比較で 200 台/日増加。

※2…八戸西 SIC 開通後 1 年間の月～金曜日の平均は 580 台/日。土・日曜日の平均は 680 台/日。

- 八戸北 IC 利用者の増加理由 →上北天間林道路開通によるものと思われる。

理由：八戸西 SIC 開通後 1 年間のインターペア交通量（八戸北 IC⇔八戸西 SIC）は約 10 台/日であるところ、上北天間林道路開通後 1 年間のインターペア交通量（八戸北 IC⇔下田本線^{※3}）は開通前 1 年間と比較すると約 300 台/日の増加となっているため。

※3…上北道路及び第二みちのく道路

- 八戸西 SIC の土日利用者が多い理由 →観光やレジャーでの利用が多いためと思われる。

理由：前述の「1. 供用開始（H31.3.23）から現在までの利用状況」のとおり、全体の約 9 割が普通車・軽自動車、コロナ禍で普通車・軽自動車の土日の減少が顕著であることから事業用よりも私用での利用が想定されること、及び OD（起終点）調査結果から、八戸西 SIC 利用者のうち、八戸駅周辺を発着地とする利用者が多くみられ、新幹線利用者（観光客）の利用が想定されるため。

- ②夏季の利用者が増える傾向にあるが、冬季期間中の利用者は減る傾向にある。アフターコロナの観光として冬季期間中のイベント等や、冬季期間の定時性確保等を PR して、年間を通した利用方策を検討していただきたい。

▶ 次項「3. 利用促進方策（2）～（5）、（7）」で説明。

③古いカーナビを使っている人も多いので、八戸西 SIC の存在をソフト施策でしっかり PR していただきたい。

▶ 次項「3. 利用促進方策（2）～（7）」で説明。

3. 利用促進方策

（1）案内誘導標識の追加設置等

▶ 案内標識の設置や路面への誘導線等の表示などを実施予定。

（2）広報・ホームページ等への掲載

▶ 広報はちのへや市ホームページに利用状況や整備効果等を掲載済み。

（3）外部向け市長講演での PR

▶ 市長講演の中で八戸西 SIC の概要や利便性などを PR（令和元年度実施済み）。

令和2年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部向け市長講演はほとんど行われていない。引き続き、八戸西 SIC の PR に努める。

（4）PR チラシ・PR ポスター等の配布

○観光

▶ 八戸圏域内の観光や広域的な周遊観光が可能であること、及び八戸駅に近接しており新幹線利用に便利であることなど、八戸西 SIC 利用によるメリットを掲載した PR チラシ・PR ポスターを配布予定。

【配布対象】

・「青森方面、上北方面」「三陸沿岸地域」からの利用者

→配布場所:上北自動車道及び三陸沿岸道路に近接した道の駅(三沢市～宮古市)

・八戸駅で新幹線を降車し、レンタカーを使用する利用者

→八戸駅周辺のレンタカー店舗

○買い物・レジャー

▶ 高速道路へのアクセス性向上により買い物やレジャーに便利であるなど、八戸西 SIC 利用によるメリットを掲載した PR チラシを配布予定。

【配布対象】

・八戸駅周辺地区、白山台地区、五戸町中心部の住民

→回覧板などによる配布を予定

○通勤

- 市街地の渋滞エリアを回避できることや通勤時間が短縮されるなどの八戸西 SIC 利用によるメリットを掲載した PR チラシを配布予定。

【配布対象】

- ・八戸西 SIC が最寄りとなるエリア（主に八戸駅周辺）の事業所従業員
→ポスティングによる配布を予定

（５）会員団体が有する機関誌への掲載

- 八戸商工会議所が発行している「八戸商工ニュース」 8 月 5 日号に掲載予定。

国土交通省の調査結果に基づいた大型車の実際の利用状況^{※4}を示し、八戸西 SIC を利用した際のメリット^{※5}を PR。

※4…八戸北インター工業団地や八戸総合卸センター、八戸第 2 臨海工業地帯などから八戸西 SIC を經由して南方面へ向かう利用。

※5…市街地の渋滞エリアを回避、冬期の八戸 IC への登坂を回避⇒定時性の確保、安全性の向上、運転手の心理的負担軽減。

（６）最寄り施設ホームページへの八戸西 SIC を利用したアクセス方法の掲載

- 八戸西 SIC 周辺の宿泊施設及び集客施設（計 7 施設）に対し、八戸西 SIC を利用したアクセス方法の掲載を依頼済み。対応の可否を確認中。

（７）八戸西 SIC を活用した観光モデルコースの発信

- VISIT はちのへ（DMO：観光地域づくり法人）のホームページに掲載されている観光モデルコースに、八戸西 SIC の利用を促す記述を掲載済み。一般道利用時より約 10 分の短縮が可能。